

## 目標達成計画

作成日：平成 21 年 12 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	経営理念に地域密着型サービスの意義が薄い。	平成18年の介護保険の改正に伴い地域密着型サービスの意義がホームスタッフ全員が共有できる。	現在も理念を毎朝唱和しているが、本来の意義をもっと理解が容易に出来るような表現(文言)にする。	3ヶ月
2	3	運営推進委会議の開催が2ヶ月に1回出来ていない。	運営推進開示が規定通りに2ヶ月に1回開催できる。	会議において次回の予定を決めて委員に周知して頂き円滑に開催できるようにする。	12ヶ月
3	33	見取りの事例経験はないが、利用書の体調についての情報をスタッフカンファレンスできょうゆうし、家族、医療機関との連携をとり対応を周知する。	スタッフ全員が入居者の体調について又は予測される病状について対処方法がわかる。	家族、主治医との情報を共有し、ひごろからカンファレンスで周知できるようにし、家族とも密に情報交換を行う。	3ヶ月
4	35	隣近所とは日頃から挨拶や会話などでお付き合いはしているが、避難訓練への参加がまだ行われていない。	近隣の住民の方にも非常時に協力して頂けるようにする。	これまで同様に親しくお付き合いをしながら、ホームの消火、避難訓練に参加してもらえるように依頼する。	6ヶ月
5	54	各自の私物をお部屋で使い、好みの物を使って頂いている方もいるが、まだ自分の居場所になっていない。	自分の家や、家族を忘れることなく、ホームの居室が自分の居場所として馴染める。	入居前に物品等をお持ち頂き、各自の居場所にふさわしくレイアウトする。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。